

国土交通省所管ダムの 堆砂状況について

- ・ 本資料は、国土交通省所管ダムの堆砂状況についてとりまとめたものです。
- ・ 本資料に記載している堆砂量は、令和5年度末時点で最新の測量結果に基づくものであり、堆砂対策の内容は、令和6年7月末時点での状況を取りまとめています。
- ・ 記載内容は、今後の堆砂状況や堆砂対策の実施状況によって変わりうるものです。

計画堆砂量に対する堆砂状況

○国土交通省所管ダムにおいて、計画堆砂量を超過している68ダムについては、全てのダムで、既に堆砂対策を実施中もしくは堆砂対策実施に向けた検討に着手している。

ダム管理者	国土交通省	水資源機構	道府県	合計
国土交通省所管ダム	105	25	445	575
計画堆砂量を超過しているダム	7	3	58	68
①堆砂対策を実施中のダム	7	3	42	52
①のうち、ダム再生事業で堆砂対策を実施中のダム	2	0	3	5
①のうち、緊急浚渫推進事業で堆砂対策を実施中のダム	—	—	18	18
②堆砂対策を検討中のダム	0	0	16	16

※ 上記は、令和5年度末時点で最新の測量結果に基づく堆砂状況であり、①～②の区分は令和6年7月末時点での対応状況を示したものである。内容については、今後の堆砂状況や堆砂対策の実施状況によって変わりうる。

※ 国土交通省所管の575ダムのうち、8ダムは集計の対象としていない。（P5参照）

計画堆砂量を超過しているダムの状況

①堆砂対策を実施中の52ダム

桂沢ダム(北海道開発局)、川治ダム(関東地方整備局)、美和ダム(中部地方整備局)、小渋ダム(中部地方整備局)、矢作ダム(中部地方整備局)、丸山ダム(中部地方整備局)、柳瀬ダム(四国地方整備局)、下久保ダム(水資源機構)、早明浦ダム(水資源機構)、寺内ダム(水資源機構)、有明ダム(北海道)、遠野ダム(岩手県)、入畑ダム(岩手県)、木地山ダム(山形県)、荒沢ダム(山形県)、月光川ダム(山形県)、三河沢ダム(栃木県)、道平川ダム(群馬県)、塩沢ダム(群馬県)、有間ダム(埼玉県)、亀山ダム(千葉県)、高滝ダム(千葉県)、三保ダム(神奈川県)、鯖石川ダム(新潟県)、湯川ダム(長野県)、裾花ダム(長野県)、奥裾花ダム(長野県)、松川ダム(長野県)、片桐ダム(長野県)、白岩川ダム(富山県)、狭山池ダム(大阪府)、天理ダム(奈良県)、佐治川ダム(鳥取県)、厚東川ダム(山口県)、御庄川ダム(山口県)、五名ダム(香川県)、内場ダム(香川県)、長柄ダム(香川県)、田万ダム(香川県)、五郷ダム(香川県)、殿川ダム(香川県)、門入ダム(香川県)、鹿森ダム(愛媛県)、黒瀬ダム(愛媛県)、玉川ダム(愛媛県)、永瀬ダム(高知県)、鏡ダム(高知県)、平木場ダム(佐賀県)、市房ダム(熊本県)、渡川ダム(宮崎県)、松尾ダム(宮崎県)、日南ダム(宮崎県)

①のうち、ダム再生事業で堆砂対策を実施中の5ダム

桂沢ダム(北海道開発局)、丸山ダム(中部地方整備局)、松川ダム(長野県)、五名ダム(香川県)、長柄ダム(香川県)

①のうち、緊急浚渫推進事業で堆砂対策を実施中の18ダム

有明ダム(北海道)、遠野ダム(岩手県)、有間ダム(埼玉県)、亀山ダム(千葉県)、高滝ダム(千葉県)、裾花ダム(長野県)、奥裾花ダム(長野県)、松川ダム(長野県)、片桐ダム(長野県)、白岩川ダム(富山県)、佐治川ダム(鳥取県)、御庄川ダム(山口県)、五郷ダム(香川県)、永瀬ダム(高知県)、鏡ダム(高知県)、渡川ダム(宮崎県)、松尾ダム(宮崎県)、日南ダム(宮崎県)

②堆砂対策を検討中の16ダム

小平ダム(北海道)、坂本ダム(群馬県)、笠堀ダム(新潟県)、三面ダム(新潟県)、新内川ダム(石川県)、笹生川ダム(福井県)、湯原ダム(岡山県)、菅野ダム(山口県)、川上ダム(山口県)、南畑ダム(福岡県)、祝子ダム(宮崎県)、綾北ダム(宮崎県)、綾南ダム(宮崎県)、岩瀬ダム(宮崎県)、立花ダム(宮崎県)、樋口ダム(長崎県)

※ 上記は、令和5年度末時点で最新の測量結果に基づき、令和6年7月末時点での堆砂対策の状況を示したものである。
内容は、今後の堆砂状況や堆砂対策の実施状況によって変わりうる。

洪水調節容量内の堆砂状況

- 洪水調節容量内に堆砂しているダムがあるが、ほとんどのダムは洪水調節容量に見込んである余裕の範囲に収まっている。
○上記の余裕の範囲に収まっていないダムについても、既に堆砂対策を実施中もしくは対策に向けた検討に着手している。

ダム管理者	国土交通省	水資源機構	道府県	合計
国土交通省所管ダム	105	25	445	575
洪水調節容量内に堆砂しているダム	58	16	252	326
洪水調節容量の余裕の範囲に収まっているダム	54	15	237	306
洪水調節容量の余裕の範囲に収まっていないダム	4	1	15	20
①堆砂対策を実施中のダム	4	1	14	19
①のうち、ダム再生事業で堆砂対策を実施中のダム	0	0	1	1
①のうち、緊急浚渫推進事業で堆砂対策を実施中のダム	—	—	11	11
②堆砂対策を検討中のダム	0	0	1	1

- ※ 上記は、令和5年度末時点で最新の測量結果に基づく堆砂状況であり、①～②の区分は令和6年7月末時点での対応状況を示したものである。内容については、今後の堆砂状況や堆砂対策の実施状況によって変わりうる。
- ※ 国土交通省所管の575ダムのうち、8は集計の対象としていない（P5参照）。

洪水調節容量の余裕に収まっていないダムの状況

①堆砂対策を実施中の19ダム

金山ダム(北海道開発局)、湯田ダム(東北地方整備局)、小渋ダム(中部地方整備局)、菅沢ダム(中国地方整備局)、早明浦ダム(水資源機構)、有明ダム(北海道)、遠野ダム(岩手県)、皆瀬ダム(秋田県)、荒沢ダム(山形県)、裾花ダム(長野県)、利賀川ダム(富山県)、引原ダム(兵庫県)、二川ダム(和歌山県)、河本ダム(岡山県)、鹿森ダム(愛媛県)、永瀬ダム(高知県)、鏡ダム(高知県)、渡川ダム(宮崎県)、松尾ダム(宮崎県)

①のうち、ダム再生事業で堆砂対策を実施中の1ダム

引原ダム(兵庫県)

①のうち、緊急浚渫推進事業で堆砂対策を実施中の11ダム

有明ダム(北海道)、遠野ダム(岩手県)、皆瀬ダム(秋田県)、裾花ダム(長野県)、利賀川ダム(富山県)、二川ダム(和歌山県)、河本ダム(岡山県)、永瀬ダム(高知県)、鏡ダム(高知県)、渡川ダム(宮崎県)、松尾ダム(宮崎県)

②堆砂対策を検討中の1ダム

大野ダム(京都府)

※ 上記は、令和5年末時点で最新の測量結果に基づき、令和6年7月末時点での堆砂対策の状況を示したものである。
内容は、今後の堆砂状況や堆砂対策の実施状況によって変わりうる。

(集計の対象としていないダム)

○管理開始直後等であり、今後測量を実施するダム（直轄管理 1 ダム、道府県管理 3 ダム）

阿蘇立野ダム（九州地方整備局）：令和 6 年度から管理開始したダム

安威川ダム（大阪府）：令和 5 年度末から管理開始したダム

千五沢ダム（福島県）：令和 6 年度から管理開始したダム

波積ダム（島根県）：令和 6 年度から管理開始したダム

○個別の理由によるダム（直轄管理 1 ダム、県管理 3 ダム）

品木ダム（関東地方整備局）：河川水の中和の促進及び中和生成物の貯留を目的とする施設であるため

中禅寺ダム（栃木県）：自然湖沼（計画堆砂量を持っていないため）

余呉湖ダム（滋賀県）：自然湖沼（導水路によって洪水を貯留するが、平常時は流水の流入がなく、堆砂がみられないため）

黒部川貯水池（千葉県）：河道の一部を利用した施設であり、計画堆砂量も無く、定期的に浚渫が行われているため